

**製品名: IKK ガンマウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe02149**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.13mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 48 kDa; Observed MW: 48 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	IKBKG IKBKG; FIP3; NEMO; NF-kappa-B essential modulator; NEMO; FIP-3; Ikb kinase-associated
別名	protein 1; IKKAP1; Inhibitor of nuclear factor kappa-B kinase subunit gamma; I-kappa-B kinase subunit gamma; IKK-gamma; IKKG; Ikb kinase subunit gamma; NF
遺伝子 ID	8517
SwissProt ID	Q9Y6K9
免疫原	ヒト IKK ガンマの組み換えタンパク質

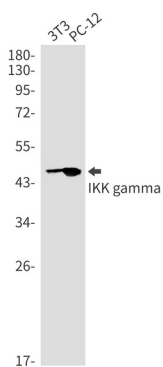
## 背景

NF- $\kappa$ B/Rel 転写因子は、細胞質内で不活性な状態で存在し、阻害性 I $\kappa$ B タンパク質と複合体を形成しています。NF- $\kappa$ B を活性化するほとんどの因子は、リン酸化誘導性プロテアソームを介した I $\kappa$ B の分解に基づく共通経路を介して活性化します。

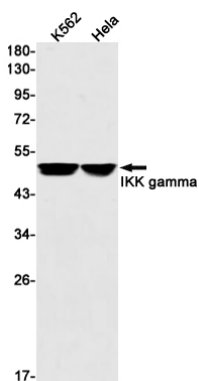
## 研究分野

細胞生物学

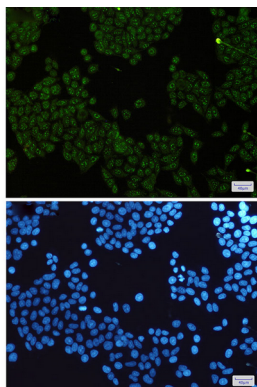
## 画像データ



IKK ガンマ抗体を使用した 3T3、PC-12 溶解物中の IKK ガンマのウェスタン ブロット分析。



IKK ガンマ抗体を使用した K562、Hela 溶解物中の IKK ガンマのウェスタン ブロット分析。



IKK ガンマ抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中の IKK ガンマ (緑) の免疫細胞化学分析